

A. 日時：2011年7月7日(木) 18:00~19:30

B. 場所：建築会館会議室

C. 出席者：森山主査, 山田幹事, 山田常圭, 大宮, 峯岸, 鈴木, 油野, 長岡, 中濱 計9名(順序不同, 敬称略)

D. 配布資料

① INTERNATIONAL BUILDING CODE (森山)

② 9<sup>th</sup> International Conference on Performance-Based Codes and Fire Safety Design Methods (森山)

E. 審議事項

1. 煙制御計画指針(案)

- ・シンポジウムでの質問に対する回答は作業完了。質問者へメールにて返答済み。
- ・1章の押し排煙の図が間違っているとの指摘を受けた。

2. 海外事情の紹介(資料①)

- ・森山主査から, "INTERNATIONAL BUILDING CODE"について紹介があった。
- ・本資料は煙制御以外に避難や耐火も含んだ実務者向けの内容であり, 米国の各州では様々な部分を引用している。
- ・本資料の閲覧を希望する委員は, 森山主査へ連絡するとPDF資料を送付して頂ける。
- ・日本国内であっても大使館といった建物では, 当該国特有の法規・製品の導入を要求されることがあり, 特に製品の場合は認定の点で問題があった事例もある。
- ・海外特有の事例としては, 天井裏にもSP設備を設置することが要求されることもある。理由は, SP設備を設置しない場合, 保険対象とならないためである。
- ・大使館のように日本であっても自国基準で設計されるが, 本来各国の消防力は異なることを考えないといけない。

3. SFPE主催の性能設計ケーススタディ(資料②)

- ・来年6/20~22日, 香港においてSFPE主催の性能設計ケーススタディが開催される。今回は超高層複合ビルが対象。
- ・対象建物は99階建て, 低層が商業, 中層が事務所, 高層が住宅であり, 奥行が10m程度である。
- ・検討項目は避難や煙制御以外に, 耐火も含まれている。さらに, 建設途中の施設利用も提案項目に挙げられている。
- ・原案では, 非常用EV乗降ロビーが狭く, 第一次安全区画が取れていない点が気になる。
- ・原案に対し, 様々な防災計画の意見が挙がった。
  - ・日本特有の煙制御システムとして, 付室加圧をアピールしたいとの意見が挙がっている。
  - ・レントラブル比が小さいため, 実務上, 廊下は設置できない。1フロアを2分割すれば, 現案でもOKではないか。
  - ・中央部分は安全区画とし, 階段とのアクセスを考える。
  - ・階段を2ヶ所にして, コア部分の計画を変更する。また, 高層階ではEVバンクがここまでいらぬ。
  - ・EVホール加圧+EV避難も考えられる。また, 途中階に避難階を設置する案も考えられる。なお, 中国では中間避難階の設置が要求される。
  - ・構造は地震が少ない国であるためか, 日本とは考え方が異なるようである。当該案も構造は内容がよく分からない。
- ・来年2月に検討結果をとりまとめる。参加希望者は福井氏(日建設計)に連絡する。当委員会からも誰か参画をして, 途中経過を報告して欲しい。なお, 山田幹事はSFPE日本支部の理事であり, 参画する予定である。

#### 4. その他 話題提供

- ・6月にIAFSSが米国で開催された。煙制御という点では特に目立った研究は見られなかった。
- ・次回のIAFSSは、ニュージーランドのクライストチャーチで開催予定。
- ・国際避難安全学会は12月末が概要の締切である。開催場所はケンブリッジを予定。

#### 5. 次回以降の進め方

- ・次回以降3回程度は、海外の文献や設計例を調査して情報収集を行い、今後の検討内容について議論する。
- ・例えば、実務系と理論系の各々から、海外に関する情報を提供して頂きたい。

以上

---

次回の委員会は、未定です。後日、各委員のスケジュールを考慮し、日程が決められる予定です。

議題 (1) 海外事情の紹介 (2) 今後の活動内容 等

---

(社)日本建築学会 〒108-8414 東京都港区芝5-26-20 TEL 03-3456-2051 FAX 03-3456-2058